

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	プロッサムジュニア上越春日山教室		公表日 令和 8 年 4 月 15 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	40%	60%	<ul style="list-style-type: none"> ・段差がある所では壁に手をつくよう促したり横から少し身体を支える、狭い通路では歩くよう声掛けをしたり見通しの悪いところに職員が立つなど配置を意識し、児童の状態に合わせた支援を心がけている ・遊ぶ部屋、勉強や活動をする部屋が分かれていて分かりやすい。段差は見守りや介助をして配慮している。 ・段差があるところには児に言葉かけをしている 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・快適に安全に過ごせるよう使用する物、場所等の消毒を丁寧に、子どもの状態や活動内容に応じてどのような環境や職員配置が良いか、先生方と相談し事前に準備できるよう心がけている 	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋は用意されているが、その時の子どもの様子や状態に応じて臨機応変に使い分けできるよう意識する必要がある
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・共有のノートや支援記録にメモをしてみんなが見られるように意識している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の中で振り返りや反省を行うことが多いため、周りの職員に自ら働きかけ自分だけでなく職員全員で共有し改善方法を考えていけるようにしたい
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・意向を把握する機会に聞いたことを忘れずに行うように気を付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員から情報や保護者の意向を把握し改善を心がけているが、アンケートの内容や評価表の内容にどのようなものがあるか把握できていないため、内容も確認し自分自身の支援の改善に活かしていきたい
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりした話し合いの場だけでなく、気になったことは伝えるようにして、支援に活かせるように話し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段のコミュニケーションで子どもの様子や職員の改善点等共有し合うよう意識しているが、ちゃんとした意見交換の機会を設けて話し合いができるよう改善したい。意見を否定せず受け止めたり、自分から些細な子どもの様子や疑問に思ったことを積極的に話すことを心がけたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・守秘義務を守り第三者からの意見や評価を受け止め自分の支援を振りかえることができるよう心がけている。アンケートや面談など把握できていないところがあるため、今後は理解し業務改善に活かせるようにしたい。 ・相談員山野他事業所の職員さんに見学に来てもらい、アドバイスをもらうことがある。 	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がいない時間帯で研修の時間を確保していただき、研修を受けている 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表にされているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で共有されたものによりしっかり目を通し確認するよう心がけている。個別支援で活かせるよう時々再度確認する必要がある。 	

適切な支援の提供	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（個別支援計画）を作成しているか。	80%	20%	・個別支援計画に記されている内容から子どもや保護者のニーズを確認している。詳細なことや疑問に思った点など質問し理解した上で支援できるよう心がけたい。	
	13	児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・共有された個別支援計画を確認し、現状や今後の支援について共通認識をもつようになっている。	
	14	児童発達支援計画（個別支援計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・個別学習を考える際や課題があがった際に個別支援計画を見直ししながら支援を考えることを心掛けている。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%		
	16	児童発達支援計画（個別支援計画）には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	・立案に参加できていないことが多いがプログラムについて意図や支援方法を先生方に確認しながら行うことを心掛けている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・個々の児童の状態や活動に応じて、内容を変化させたり活動の意図を自分自身が把握できてから取り組めるよう意識している。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画（個別支援計画）を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・準備するものや環境設定等事前に相談している。個別学習や活動の内容、意図まで詳細に共有する必要がある。	
	21	支援終了後には、職員間で行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	100%	0%	・職員同士でコミュニケーションをとり、気づいた点や改善点を話すことを心がけている	
関係機関や	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・職員間で話し合いを行い、共通認識の元支援を行ったりその振り返りを行うことを心掛けている。	・記録の記入が遅れることがある。その点については改善方法を話し合っていく必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（個別支援計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	80%	20%	・モニタリング会議の前後で職員と対象児童について意見交換や様子を共有する話し合いを行っている。会議の前後以外でも、子どもの様子を共有し、改善できるよう心掛けている。今後は、支援計画の内容も合わせて確認し見直しをする必要がある。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・園や学校との直接的なやりとりは管理者が中心となるため自身が関わる機会は限られているので、日々の支援で気づいた点や情報共有を通して移行支援に関われるようにしたい	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・子どもが安心して移行できるように日々の様子や支援内容について話し合いや情報共有を心がけたい	

保護者との連携	28	管理者・児童発達支援管理責任者が地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設け、職員間で情報を共有しているか。	100%	20%		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	60%	40%	・しっかりと交流することや一緒に活動する機会はないが、地域のイベントや図書館などで関わることもある。	・今後相談しながら見学やボランティアなど機会をいただいで参加したい
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	80%	20%	・まずは保護者と挨拶やコミュニケーションを通して名前と顔を覚えてもらうことを意識している。送迎の際にその日の出来事や子どもの様子を伝えコミュニケーションをとれるよう心掛けている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	80%	20%	・研修会は行っていないが、交流会で補えていることはあると思う。	・家族支援プログラムや研修について把握できていないことがあるため今後確認したい
保護者への説明等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%		・自分自身で説明を行っていないが、運営規定や利用者負担等については把握する必要がある。
	33	児童発達支援計画（個別支援計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	34	「児童発達支援計画（個別支援計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画（個別支援計画）の同意を得ているか。	100%	0%		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%		・自分自身ではまだそのような機会がないが、職員間で共有されたことを自分の中でも考えるようにする。
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	80%	20%	・昨年のBBQのような保護者同士や子ども、職員の交流の機会がまたあると良いと思った。父母の会や保護者会について把握できていないことがあるため確認したい ・季節のイベントなどで保護者も参加するときは、交流ができるように声をかけたり促したりするように意識している。	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・共有されたことを受け止め職員間で共通認識をもって対応することを心掛けている。 ・自分だけの判断にならないように、報告し相談するようにしている。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・直接的なやりとりを自分では行っていないが、保護者や子どもが見て伝わりやすい写真をとることや、具体的に正しい記録を残せるよう心掛けている。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・写真は公式に送ったあとすぐに消す、個人情報漏洩に十分注意している	
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	80%	20%	・その子どもに応じてジェスチャーを交えたり、理解しやすい言葉で話したり目を見て伝えるよう意識しているが、伝わらないことも多いため、どうしたら良いか今後試行錯誤しながら関わっていきたい	
	41	事業所の行事に地域住民を招待する、地域のイベントに参加する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80%	20%		・児童発達支援の子どもとの地域交流を経験したことがないため今後参加する機会があると良い

非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	40%	60%		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にマニュアルをチェックしたり想定した訓練を行いたい。訓練は定期的に設けることが難しいため自身でマニュアルを確認したり復習を行うようにする。 ・児童発達の子と訓練をしたことはないが、放デイの子の訓練のときに動きを想定したことはある。 ・訓練が不十分
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	40%	60%		<ul style="list-style-type: none"> ・活動内で子どもたちと確認するだけでは不十分であると感じるため、職員同士でも動線や動きを確認する必要がある。 ・定期的に行われていないので、できるように話し合ってみたい。 ・訓練が不十分
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・子どもの状態について職員間で共有を心掛けている。	
	45	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・自分がまだ把握できていない子どももいる可能性があるためすぐに確認したい ・今はアレルギーの子がいないが、対応できるようにしたい。
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受けているが自分で理解するだけでなく職員間で定期的に確認するようにする。
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・トラブルが起こったら際には些細なことでも必ず報告する	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・自分だけで対策を考えるのではなく、起きた出来事や原因、改善策等職員間で話し合い共有することを心掛けている。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修後に現状を振り返り今後の支援について考え共有している。	
50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画（個別支援計画）に記載しているか。	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・研修を受け自分自身で判断したことではなく、職員全体で共通認識を持つようにしたい 	